

Human ヒューマン

2015.6 Vol.05

CONTENTS

02 特集 人文学部の英語教育

04 人文学部 TOPICS

日本文化特別演習／英米文化特別演習／ビブリオバトル／
植林ボランティア／人文学の挑戦

06 ゼミ紹介

日本文化学科 徳永良次 3年ゼミ (1部)
英米文化学科 仲松優子 4年ゼミ (1部)

07 新任教員紹介

Jérémie Bouchard 専任講師

07 2014 年度 留学状況／資格取得状況

08 2014 年度 卒業研究コンテスト

09 2014 年度 卒業研究題目一覧 (一部)

10 OB インタビュー

北海道大学国際本部留学生センター／
大学院国際広報メディア・観光学院 准教授 山田智久さん

裏表紙 入試情報／就職情報

世界を**ふん**かり、
世界を**みらい**を拓く。

人文学部の英語教育

- 人文学部では、全学部対象の一般教育科目に加え、学部独自の英語科目を開講しています（下図「人文学部の英語科目」参照）。
- 下図の英米文化特別演習と国際文化特別演習は、カナダにある本学の協定校のブロック大学とレスブリッジ大学で行う研修のことで（詳しくは、大学案内 p.80 を参照）。また、英文法、英語音声学に関しては、大学案内 p.81 を参照してください。
- 残りの科目は、人文学部英語教育委員会が中心となって運営している「コミュニケーション手段としての英語」の習得を柱に構成された統一性のある英語教育科目群です。2014 年度入学者からこの科目群の構成が一新されました。
- 英語教育委員会の中心メンバーである米坂スザンヌ教授に、この科目群の内の 1、2 年次科目（下図の点線の枠内の科目）に焦点を当て、その特徴を紹介してもらいました。



英語教育委員会が運営している 1、2 年次の英語科目は、①統一シラバス、統一教材を用いた体系的言語教育、②討論、プレゼンテーション、オンラインの forum discussion、アカデミック・ライティング等によるアクティヴ・ラーニングの機会、③ ICT（情報通信技術）技能向上の機会（すべての科目には自主学習のためのオンライン教材を準備）、④異文化理解向上の機会、等を提供します。また、各科目の授業内容は、人文学部カリキュラムの諸分野を反映し、さらに、異文化間コミュニケーションの能力向上を目標にしています。各科目の内容を修得するためには、自己の学びに責任をとると同時に、インターネット、MSWord、PPT を使いこなすことが期待されます。

人文学部の英語科目

3 年次以上	Special Lectures in English II	Special Skills II		Intensive Communication Skills II		Cultural Perspectives in English VI	
	Special Lectures in English I	Special Skills I		Intensive Communication Skills I		Cultural Perspectives in English V	
2 年次以上	国際文化特別演習	Global English IV	Reading IV	Communication Skills IV (週2回)	Writing IV	Cultural Perspectives in English II	Cultural Perspectives in English IV
		Global English III	Reading III	Communication Skills III (週2回)	Writing III	Cultural Perspectives in English I	Cultural Perspectives in English III
1 年次以上	英米文化特別演習	Global English II	Reading II	Communication Skills II (週2回)	Writing II	英語音声学	英語文獻講読Ⅱ
		Global English I	Reading I	Communication Skills I (週2回)	Writing I	英文法	英語文獻講読Ⅰ

HGUWeb

<http://hguweb.jp>

アクセスしてみてください！

- 人文学部英語教育委員会が運営している科目のオンライン・コミュニケーション・センター
- 全てのアナウンスメントが行われる場
- HGUWeb courses: 全ての Web 教材は、教員との共有のため、あるいは学生間の共有のため、オンライン・コンポーネントを持っている



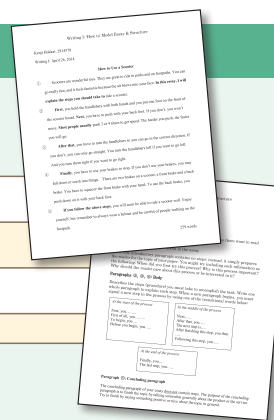
Communication Skills I - IV

- 統一教材（Speaking、Listening 用）統一シラバス
- グループ・プレゼンテーション（ジャンルの設定）



表 1 ジャンル

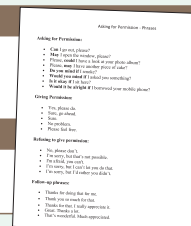
1 年 1 学期	Compare & contrast How to
1 年 2 学期	Opinion Problem & Solution
2 年 1 学期	Advantages & Disadvantages Cause & Effect
2 年 2 学期	Argument & Persuasion



- 機能別の独自教材を用いた Task-based language teaching

表 2 Specific Functions

Communication Skills I	Communication Skills II
1. Apologizing & explaining 2. Requesting help & asking for information 3. Asking for permission 4. Giving advice	1. Extending conversations using rejoinders & follow-up questions 2. Sharing wishes, hopes, desires, problems, & beliefs 3. Justifying & persuading 4. Responding to invitations & expressing thanks
Communication Skills III	Communication Skills IV
1. Describing people, places & actions 2. Reporting about events or people 3. Ordering & sequencing 4. Classifying	1. Recounting 2. Making complaints 3. Analyzing 4. Making inferences



- English advisory 制度：授業担当教員は英語学習に関してアドバイスする
- English advisory のための Profile の作成、編集



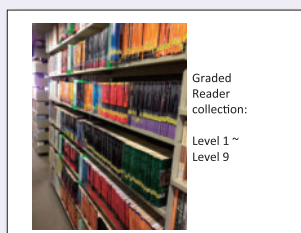
Reading

- 統一教材、統一シラバス

表 3 Graded Readers の Word Goals & level

	目標単語数	教材 Level
Reading I	30,000	1 to 4
Reading II	40,000	2 to 5
Reading III	50,000	3 to 6
Reading IV	60,000	4 to 7

- オンライン確認テスト付多読教材 (Graded Readers)



- Reading Circle activities

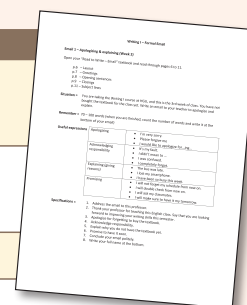


Writing

- Communication Skills の授業でも学ぶ specific genres (表 1 参照) を使った Essay writing
- Formal e-mails の writing (表 4)
- 分析調査 paper (Writing IV)

表 4 e-mail Functions

	Functions
Writing I	Apologizing & explaining Requesting help & asking for information Asking for permission Making recommendations
Writing II	Expressing interest Making arrangements for meetings Responding to an invitation Expressing thanks
Writing III	Making a formal request Polite refusals & counter-offers
Writing IV	Making complaints



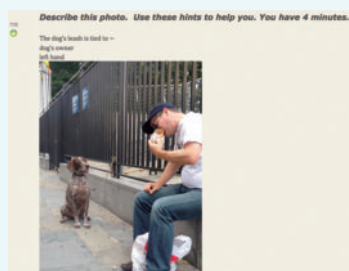
Global English

- TOEIC 対策：教師との対面学習 + e-learning

- 語彙学習：HWL942（人文学部学生に必須の 942 語）の修得

- e-learning 教材《Really English》の活用

- TOEIC-SW 用の Speaking prompts



HWL942

(<http://hguweb.jp/humanities-942/>)

アクセスして、自由に
使ってください！



Cultural Perspectives in English

- 文化を学ぶ、文化を語る

人文学部の専門科目カリキュラムの各分野（言語文化、思想文化、歴史文化、環境文化）と関連したトピック

- アクティヴ・ラーニング（英語によるディスカッションとディベート）



人文学部

TOPICS

日本文化特別演習

日本の歴史や文化の主な舞台であった京都や奈良などの関西地方に一週間ほど滞在し、その気候や風土に触れて日本文化への理解を深める研修旅行です。教員による事前の講義やグループ討議を経て、いよいよ現地入りです。団体研修では寺社や文化施設などを訪ねて見学や体験学習を行い、自主研修では各人がそれぞれ自由に決めたテーマに沿って行動し、最終日にはプレゼンテーションを行います。その後、レポートにまとめて報告書の冊子を作ります。自分の目で見、聞いて、話して、味わって、触れた体験は、人生における貴重な宝物となります。



英米文化特別演習

One step towards becoming a global citizen is experiencing another culture and language by interacting with its people on a daily basis. This is why we encourage all students to go abroad at least once while they are at university, and this elective course provides a secure way to do so. Every September, students in this course attend a three-week study abroad program at one of two hosting universities in Canada, Brock University (near Toronto) or the University of Lethbridge (near Calgary). Students travel with a chaperone, study English with other students from around the world, and stay with a Canadian host family. Before going, students attend a series of orientations to ensure that they are prepared for the challenges of an all-English environment. After returning, students report on a theme that they researched while abroad. Students find these valuable experiences and their new international friendships to be highly motivating.



ビブリオバトル

「5 分間で好きな本の紹介をする」コミュニケーション・ゲームの「ビブリオバトル」となりの大学生はどのような本を読んでいるの？ 日本文化学科の田中綾先生も加わり、知的な「ビブリオバトル」が繰り広げられました。チャンプ本（最も読みたいと思った本）を選ぶのは、あなたです！



毎年ゴールデンウィークに、平取町在住のアイヌの皆さん主宰のNPO「チコロナイ」が植林作業を行っています。今年は全国から約 60 人のボランティアが集まりました。本学からも人文学部岩崎先生のゼミ生を中心に多数の学生たちが参加し、平取町に集った仲間たちと汗を流しました。

植林ボランティア



人文学の挑戦

本学部教員の研究成果を広く地域社会に還元するトークイベント、「人文学の挑戦」を紀伊國屋書店札幌本店のインナーガーデンで開催しています。人文学の最前線を紹介する本イベントは、毎回好評を博し、2015 年度内に 7 回目を数えます。



日本文化学科

徳永良次
3年ゼミ(1部)

ゼミの活動内容は、ここ数年、新出資料である『伝公任本古今和歌集』の本文をテキストとして全文のデータベース作成作業に没頭しています。

『古今和歌集』は平安時代中期、西暦900年前半に成立した日本で最初の勅撰和歌集ですが、この時代の平仮名作品は原本は失われ、写本が残されているのみです。『古今和歌集』には平安時代のもので十数種類もの写本が存在しており、同一の本文を持つものはありません。つまり、一体どれが原本の表現であるかは様々な写本を比較しなくてはならないのです。しかも、今回取り上げている資料は新発見の写本で、全巻完備している写本としては最古といわれる資料なのです。この資料は論文や研究が少なく、今回、ゼミで取り上げる価値があり、目指すところは非常に高く険しいもので、その頂上には結果的に何も無いのかも知れませんが、とにかくやってみようということで長期戦を覚悟で取り上げています。過去2年間のゼミメンバーはこの作業だけで卒業してしまうなど、遅々として進まないのですが、なんとか本年度前半には全文のテキストデータの入力・校正作業の完成が見えてきたところです。なぜこのような面倒で、かつ直接的な勉強にもならないような事をしているかと言うと、これ



こそがまさに「急がば回れ」を体現する学問の世界だからです。つまり、本当の勉強（研究）というのはパソコンの画面上にあるわけではなく、また、書籍の文字の中にあるものではないのです。自分たちで苦労してコツコツ地道な作業をすることを通して見えてくる、様々な事実が自然に学問的興味関心をもたらしてくれると確信しているのです。

例えば、私は通算3年間この作業を続けていますが、その結果この資料の持つ表記上の性格が見えてきました。これまでの平安時代『古今和歌集』写本には見られない非常に特徴的な表記もいくつもありました。個別的にはゼミの学生に実際に取り上げて課題を見つけて取り組んで欲しいと思っています。これが最終的には卒業研究のテーマとして結実できれば最高です。

ゼミ紹介

英米文化学科

仲松優子
4年ゼミ(1部)

フランス史およびヨーロッパ史を勉強するゼミです。3年生の前期には、歴史学とはどのような学問なのかということについて学ぶために、フランス史およびヨーロッパ史の分野でこうしたテーマを扱ったテキストを読みました。特に、社会史の発展のなかでひろがった歴史研究の領域において、それぞれの研究の視点と、実際に生み出された研究について、理解をすすめました。

後期には、フランスおよびヨーロッパの中世から現代までの歴史にかんする知識を深めるために、ゼミ生全員で概説史を扱ったテキストを読みました。これとおして、各自が具体的な研究テーマをみつけ、関心をもった文献について発表し議論しました。

4年生の現在では、フランス史やヨーロッパ史を中心にさまざまなテーマについて、各自が研究に取り組んでいます。研究対象として設定した時代は、中

世から現代までは幅広いものになっていますが、それぞれの研究が相互に関係しており、ゼミにおける全員での議論は、互いの研究の進展に刺激を与えるものとなっています。ゼミでの発表と議論とおして、卒業研究の完成に向けて、勉強をすすめているところです。

ゼミでは、フランス史やヨーロッパ史について知識を増やししながら、現在のヨーロッパやさまざまな地域・社会について考察するきっかけとなることを目標としています。



新任教員紹介



英米文化学科 専任講師 **ジェレミ ブシャール**

Jérémie Bouchard

担当科目：人文学基礎演習、人文学演習、Cultural Perspectives in English

日本はますます国際化が進み、多言語、多文化社会へと急速な変化を遂げています。現在行われている教育改革や教室内の様々な変化の中で、英語教育がその社会的文化的変化の中心的存在になっていると言えます。

私の研究は、中学校の授業を観察し、観念的談話と英語教育との関係性に焦点を当てています。先生と生徒が英語授業の中で、どのように文化に対する価値を表現し取り入れて授業を展開しているか、生徒の言語学習と多文化理解がされていくかを解明し

ていくことです。

大学の英語教育においても、私は、学生に対する言語学習と多文化コミュニケーション能力を発展させることに重点を置いています。多言語、多文化社会の中で、人々がコミュニケーションをとる際に、自分と相手のそれぞれの文化に対する価値感に気づき批評的思考能力を発展させることです。更に、学生に多文化と日本文化に対するグローバルな視点を与えていきたいと考えています。どうぞ宜しくお願いいたします。



留学状況

学年 年度	1部 日本文化				1部 英米文化				2部 日本文化				2部 英米文化				カナダ	韓国	中国	ロシア	欧州	マレーシア	豪州	NZ	米国	イギリス	フィリピン	計(人)
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4												
2012		1		3		24	11	6				1		3	3	2	31	6	3		10		2	1	1			54
2013		3			1	10	16	3			1			2	1		20	2	2	1		4	3			1	4	37
2014		5	1		8	17	5	1	1				2	1	3	1	28	4	1	4			1	2	1		4	45

*次の留学に参加した学生を算出しています。

・国際文化演習 ・協定校留学（期間は問わない） ・協定校ではないが、国際交流委員会経由の留学 ・休学期間中の留学
・その他（2012年度のヨーロッパ研修旅行、2013年度のマレーシア旅行）

資格取得状況

【修了者人数】

	2012年度	2013年度	2014年度
日本語教員養成課程	58	62	61
図書館学課程(司書)	32	47	35
図書館学課程(司書教諭)	6	4	4
教職課程(中学・高校国語)	13 ※内2名は高校のみ ※内1名は中学のみ	19 ※内5名は高校のみ	17 ※内6名は高校のみ
教職課程(中学・高校英語)	6	19 ※内2名は高校のみ	20 ※内2名は高校のみ
教職課程(高校地歴)	6	6	4
学芸員課程	17	13	14
社会教育主事	5	6	3



人文学部では、卒業研究を提出した学生を対象に、「卒業研究コンテスト」を実施しています。第2回目を迎えた今回も、自薦、他薦を含む多数の応募があり、厳正な審査の結果、優秀者3名を選出しました。残念ながら最優秀賞の該当者はいませんでした。いずれ劣らぬ力作揃いで審査は最後まで難航しました。授賞式に先立って行われた受賞者3名のプレゼンテーションに対しては会場から活発な質問が出て、卒業研究の質の高さとともに、共に学びあう本学部の雰囲気がうかがえました。

👑 最優秀賞 該当者なし

👑 優秀賞

尾谷美香さん 1部日本文化学科

現代日本の都市伝説について

小玉恵理さん 1部日本文化学科

『源氏物語』に描写される皇統の月

澤田範子さん 1部日本文化学科

異類婚姻譚としてみる『孤笛のかなた』

—小夜の『母性』と『少数者』の選択について—



2014 年度 卒業研究題目一覧（一部）

◆日本文化学科

言語文化 【言語】	● 宮沢賢治が用いるオノマトペと東北方言の関連性 ● 自筆『拾遺愚草』における藤原定家の表記について——漢字と仮名の使い分け—— ● ことばから学ぶ日本らしさ——自然について考える—— ● 詐欺の手口から考える会話術 ● 役割語としての一人称代名詞——漫画における役割語表現—— ● 女性誌から見る、色彩語彙の年齢的变化 ● 日本人の動物観——ことわざの中の「猫」——
言語文化 【文学】	● 『羅生門』に眠る芥川龍之介の「自意識」について ● 村上春樹小説における「直子の系譜」と「二つの世界の構造」について ● 『限りなく透明に近いブルー』——「リュウ」についての考察—— ● 百人一首における後朝の歌 ● 太宰治『女生徒』——女性独白体を読む—— ● 『源氏物語』における「霧」 ● 新美南吉『でんでんむしのかなしみ』論
思想文化	● 映画と笑い——チャップリンの面白さ—— ● 北海道を活性化させた映画たち——フィルムツーリズムの今後—— ● ダークナイトのメタファー ● 茶道における道具の価値の変遷 ● 空海の謎——『三教指帰』と青年時代の空海に迫る—— ● 女大学からみる近世女性の立場について ● 平賀源内と御構問題
歴史文化	● 永倉新八——新選組を遺した男—— ● 戦国大名後北条氏存在形態——軍事動員の観点から—— ● 宇多院と「国風文化」 ● 熊野の死者信仰と神仏習合——日本人の根底にある宗教観—— ● 勝海舟の目指した日本 ● 平安期における陰陽道の発展 ● 陣僧と武士
環境文化	● 観光地化するコタン ● 奥尻島における漁業について——潜水器漁業と島の新しい動き—— ● 近くて遠い国——日韓関係—— ● 日本のハロウィン——ハロウィンは日本に受け入れられるのか—— ● 天狗のイメージ形成について ● 祝祭文化の変化と現代の祭り ● 日本のホテルの歴史と特殊性

◆英米文化学科

言語文化 【言語】	● 第二言語習得について ● 接辞に注目した英単語分類リストの活用 ● Using English Songs to Review Grammar and Vocabulary Effectively ● Gesture use of Japanese intermediate EFL students ● Improving learners' writing skills ● 謝罪の定型表現——教科書英語と実用英語—— ● Polite requests in business e-mail
言語文化 【文学】	● 「オセロー」における利己心 ● シャーロック・ホームズ——人物像、推理力、多くの言葉—— ● 「嵐が丘」に関する考察——ヒースクリフとキャサリンによる「情報の共有化」—— ● アメリカのディズニー映画とグリム童話の比較——アメリカの女性像とディズニー・マジック—— ● 緋文字が象徴しているもの——変化する「A」—— ● What's the Truth? ——轟音の中に見えるメッセージ——
思想文化	● もののけ姫からみる宗教文化——たたり神がもたらす祟り—— ● 無神論——ニーチェの眼から見るキリスト教世界—— ● 今を生きるアーミッシュ——アメリカが失った世界—— ● 古代オリンピック——驚異的な歴史を誇った祭典—— ● 神「ヤハウェ」と従う人間——人はなぜ見えない神を信じるのか—— ● 出生前診断が生む中絶問題——法・歴史・倫理から見た胎児の命—— ● ヨーロッパの近代化と魔女狩り
歴史文化	● 異人種間結婚はアメリカを変えるか ● スコットランドの独立を巡る住民投票——そこに至る歴史とその結果—— ● ヴィクトリア朝のファッションリーダー ● なぜギャングは生まれたのか ● ブロードウェイ・ミュージカル ● 近代イギリスの砂糖事情 ● ジェイン・オースティンから見る階級と女性
環境文化	● カンボジアのこどもたちからみる教育の意味 ● スマートフォンが生み出すネット依存について ● 長寿研究と倫理 ● 日本を訪れる中国人観光客——日本人の視点から—— ● 捕鯨文化について ● アンドロイドは人間になり得るか ● 変わるクルマの価値

OBインタビュー

O B | i n t e r v i e w

世界のスタンダードを知り、日本の国際化を展望する日本語教育のエキスパートは、いかにして北海学園大学から羽ばたいていったのか？ その飾らない言葉に興味津々の学生たちも交えて、日本語教師のいまを聞いた。

北海道大学国際本部留学生センター／

大学院国際広報メディア・観光学院 准教授 **山田 智久さん**

1997年北海学園大学人文学部日本文化学科卒業。ロンドン大学東洋アフリカ研究学院ディプロマ課程修了(Dip.)、ロンドン大学教育研究院修士課程修了(M.A.)、北海道大学大学院国際広報メディア・観光学院博士後期課程修了(学術博士)。ロンドン大学東洋アフリカ研究学院講師、北海学園大学非常勤講師(日本語教授法Ⅲ&Ⅳ、教材教具論担当)、佐賀大学全学教育機構講師を経て、2012年から現職。専門は、教師教育論、ICTリテラシー教育。



■インタビュー
人文学部
日本文化学科教授
寺田 吉孝

ホンモノを見ること、本質を見ること。 そういう経験が、世界へとつながっていく。

**ロンドン大学で学び、ホンモノの人たちに影響を受けて、
日本語教師としてのスタートを切った。**

寺田 今日は、よろしくお願いします。

山田 先生、ごぶさたしております。私はロシア語のクラスがあまり良い成績ではなかったの、先生とお話するのは気まずいんですよ(笑)。あまり優等生じゃなかったから、このインタビューもずっと断っていたんです(笑)。

寺田 人文学部1期生でしたね。卒業後はロンドン大学で大学院生や日本語教師をされていたそうですね。

山田 人文学部は、新しい学部で可能性があり、1期生でもあるので、ここでやってみよう。しかも、英語が嫌い、で文に(笑)。ひょんなことから英語に触れる機会が増え、勉強を続けていくうちに、だんだんと英語がおもしろくなっていきました。それで、2年生の夏に、交換留学生としてカナダのレスブリッジ大学に行ったら、全然話せない。それがすごいショックで、そこから真剣に勉強を始めました。3年生のときに、バックパッカーでロンドンからアフリカまで2カ月半くらいブラブラして、11月に戻ってきたんですが、当時の先生はけっこう鷹揚で、休んでもその時間を有意義に使っていればOKだと(笑)。その旅行の中で、世界で働きたい、国際的な仕事をしたいと思い、所属ゼミの担当教員であった中川かず子先生にイギリスの大学院に行きたいをお願いをして、ロンドン大学のSOAS(東洋アフリカ研究学院)、さらにInstitute of Education(教育研究院)で学びました。そこで、国連などの国際機関で働くホンモノの人たちと出会い、自分もお金のためだけでなく、世の中のために役に立つことをしなければならないと強く影響を受けました。それで、大学院時代は、文字通り死ぬほど勉強しました。



日本語教師は、SOASで5年ほど教えたのが最初です。29歳で帰国し、学園(北海学園大学)と北大(北海道大学)で非常勤講師を5年、佐賀大学で言語教育論と日本語を3年半教えて、3年前に北大に戻ってきました。

私は学部時代にゼミもあまり出ていなくて、中川先生から電話がかかってきて、出てきなさいと(笑)。それで渋々出て。だから、先生もゼミの同期もお前が教師かと、いちばん驚いていると思います。日本語教師を目指した人たちが全員違う仕事に就いて、私はTESOL(Teaching English to Speaker of Other Languages)も取得しているので、英語教員でもよかったし、国連で働きたいという思いもありましたが、たまたまこれに落ちてしまった。でも、人生ってそんなもんですね。

寺田 そしていま、北大ではどんなお仕事をされているのですか？

山田 最近、留学生を教えるというよりも、日本人と留学生の協同学習にシフトしてきています。北大では、2,500人の入学者から200人を選抜してグローバルに活躍できる資質を涵養する特別教育プログラム“新渡戸カレッジ”で、アカデミック・プレゼンテーションという授業を担当しています。海外でも日本でも、どこでも自分の意思を過不足なく伝達できるスキルを身につけるために、さまざまな国・地域の社会問題をコンテンツとして、留学生と日本人で適切な解を導き出していくというケーススタディを主軸に置いた授業です。ほかにも、留学生に日本語を教え、大学院では教師教育を専門として、現職の日本語教師や英語教師、留学生で日本語教師になりたいという人などを対象に教えています。

寺田 しかし、人に教えるというのは、難しいものですね。

山田 教師教育論が専門ですが、教師に向いているとか、天職だと思っている人は、あまりいい教師ではない。もちろん努力は必要ですが、自分



分は向いていないとか、苦手だなくらいに思っている人の方が、いい教師になると思います。初めてロンドンで教えたときも、母語だから大丈夫だろうと思っていたんですが、「あいうえお」を教えたなら、どうして「あ」に「う」が付かないんですか？って(笑)。そんなことはいままで考えたこともない(笑)。だから、母語の難しさは日々感じています。15年やっ

てきて、いまだに分からないことがたくさんありますが、いまは「分かりません。来週までに調べてきます」と言えるようになりました。日本では、いったん先生になってしまうと、それ以後の研修はさほど重要視されませんが、実は教師になってからの方が大事。教師が勉強していないと、学生に勉強しろといっても、なかなかしないものなんです。

人文学部では、放任主義で育ててくれて、 生きるための糧を得ることができた。

寺田 最近の学生は海外への最初の一步をなかなか踏み出せないです。

山田 いまの学生は不幸かもしれない。インターネットでなんでも見られるし、それで満足して行った気分になってしまう。それでも、実際にホンモノを見に行く人はいいけれども、やはりホンモノを見るっていうのは全然違います。

海外に大学のプログラムで行くと、言葉は悪いけどお客さんなんです。でも、自分の身ひとつで働きに行ったら、差別も受けるし、誰も助けてくれない。そうすると、その国の本質が見えてきます。そうしたお客さんじゃない本当の留学、海外滞在を経験してもらいたいですね。日本で留学生と接するときも、過度にお客さん扱いする必要はないんです。彼らにもダメなものはダメだとガツンと怒る、日本に来ているんだから日本語で話せ！というくらいのことはいわなきゃダメなんです（笑）。

寺田 日本語教員を目指す人や後輩にアドバイスをいただけますか？

山田 日本語教員で食べていけると、うっかり期待してはいけません。私は、たまたま時代と運が後押ししてくれた希なケースで、本当に何千分の1の確率で生き残った1人、サケの瀬上と同じレベルです（笑）。日本語教員一本で勝負に行くのは非常にリスク。国語教員になるとか、何か保険をかけておくべきでしょうね。

学園は、先生たちとの距離が密なので、ブラッと遊びにいったり、相談に乗っていただいたりして、教室外で教えてもらったことが非常に大きかったと思います。本当に放任主義で育ててくれて、自分の好きなことができて、生きていくために何を糧とし、指針とするかということを考えるアドバイスをたくさんいただきました。

人文学部は、自分次第でどうにでもなる学部です。経済や法律などは専門性がはっきりしていますが、人文科学分野はあらゆる領域に関わってくるので、自分の興味の幅を広げたいという人には最適な学部だと思います。大学時代に専門性を無理に狭める必要はないし、いろんな人に会い、いろんな先生がいる中でこれだというものを見つけていけばいいんです。それから、若いうちにたくさん失敗をしてほしいし、もっと冒険してほしい。そういう挑戦するリスクを取る人がたくさん出てほしいですね。

学園生は後輩に当たるので、特に頑張ってもらいたい。日々留学生と接して日本の学生との差を感じ、これはまずいという危機感も抱いているので、しっかりしてもらいたい。そのための授業を、北大だけでなく、できれば学園でもやりたいと思っているんです。後輩を教えるのは共通の話題があって楽しいし、歳をとってくると母校愛が出てくるものなんです（笑）。

寺田 ぜひ本学でも教えてもらう機会を持ちたいですね。本当に素晴らしい先生になられたと思います。今日はどうもありがとうございました。

（取材・編集／BEELINE 渡邊 裕）



日本語教員養成課程

日本語教員資格取得のための教育課程です。日本語教員資格は国家資格ではありませんが、国内外の教育機関で日本語教師として働くための基礎資格として、養成課程の修了証明が求められるようになっています。

インタビューを聞いて



岡田 佳子

人文学部 2 部日本文学学科 4 年（3 年次編入）
札幌国際情報高等学校非常勤講師
カーディフ大学で日本語教育実習
（北見柏陽高校卒、北星短大英文科卒）

先生の世界に踏み出していく勇氣、覚悟、馬力というものも含めて、もともと人間力を持っていた方なんだろうと思います。そして、教師としての熱意も大変伝わってきました。そういうものは、学生も敏感に感じ取ると思うので、先生に出会った学生たちは本当に幸せだなと思います。私もあと 20 年若かったら（笑）。私は国際理解教育に十数年関わっており、今後は途上で、現地の人のために何かをしながら生活したいと考えていて、日本語を教えることで貢献できればと思って大学に入ったので、今日のお話は大変参考になりました。



浅野 航

人文学部 1 部日本文学学科 4 年
日本語教員養成課程履修中
（石狩南高校卒）

山田先生のお話で、海外へ出なさいとか、教員になってからの方が勉強が大変だという言葉が印象に残っていて、今後自分の中で大きな価値を持つものだなと思いました。僕は、中学校の教員を目指しているんですが、先生が生徒に与える影響はとても大きいと思っています。どんどん国際化が進んでいく社会の中で、生徒が自由に羽ばたいていけるような選択肢を提示していけるように、これから頑張っていきたいと思いました。100 回聞くよりも 1 回経験した方が自分のためになると思いますので、いろいろな経験も積み、伝えていきたいと思っています。



澤田未沙映

人文学部 1 部英米文化学科 3 年
日本語教員養成課程履修中
レスブリッジ大学学生交換プログラム参加
（石狩南高校卒）

私は、幼稚園のときから英語を習っていて、英語と一緒に生活を送ってきました。それで、小さいころから海外へ出て就職したいという思いを強く持っていました。でも、私は 2 回しか海外に行ったことがなく、滞在期間も短かったもので、外国人と関わる機会もあまりなかったんです。山田先生は、海外でもお仕事をされて、実際に住んでみなければ分からない経験を多くされてきたので、貴重なお話をとても興味深く聞かせていただきました。「本物に会う」という言葉が印象的で、ぜひ海外に行って、本物だと思う人に出会ってみたいと思うようになりました。



新井田奈摘

人文学部 1 部英米文化学科 3 年
日本語教員養成課程履修中
カーディフ大学で日本語教育実習
レスブリッジ大学学生交換プログラム参加
（苫小牧東高校卒）

私はいま、自分の将来についてすごく悩んでいる時期なんです。レスブリッジ大学では、3 週間とても話せるようになり、ホストファミリーとは良好な関係が今後も続いています。でも、カーディフ大学では、ホストファミリーの英語の訛りが酷く、うまくコミュニケーションを取れなかったり、差別まがいのことを言われたり、とてもつらい経験をしました。それで自信を失い、国際的な仕事に就くということもシリアスに考えていたんですが、いま先生のお話を伺って、国際的な場所で活躍したいなともた思えるようになりました。先生の人間力を見習って、私も頑張っていきたいと思っています。

入試情報

人文学部では、さまざまなバックグラウンドを持つ才能豊かな人材を選抜するため、以下の入試を行っています。

1部 日本文化学科・英米文化学科	一般入試	外国語 国語 選択
	センター利用入試Ⅰ期	3教科 3科目
	センター利用入試Ⅱ期	3教科 3科目、または3教科 4科目
	推薦入試(公募) (指定校)	書類審査 小論文 個人面接 書類審査 個人面接
2部 日本文化学科	一般入試	国語 選択
	センター利用入試Ⅱ期	1教科 1科目
	推薦入試(公募)	書類審査 小論文 個人面接
2部 英米文化学科	一般入試	外国語 選択
	センター利用入試Ⅱ期	2教科 2科目、または2教科 3科目
	推薦入試(公募)	書類審査 小論文 個人面接

上記以外にも、社会人、海外帰国生徒・外国人留学生を対象にした特別入試を実施しています。
各学科の出願資格、出願要件および試験科目の詳細については、「入試GUIDE」または大学HP(<http://hgu.jp/>)でご確認ください。

就職情報

[2015年5月までの集計結果]

2012～2014年度 卒業生内定先・公務員登録先 (人文学部1部および2部)※順不同。誌面の関係上各業種一部のみ掲載しています。

業種	企業/団体名
建設業	スウェーデンハウス/タカラスタンダード/一条工務店/岩田地崎建設/東日本ハウス/北海道セキスイハイム
製造業	きのとや/トーモク/どんぐり/ファーム富田/ホリ/ロイズコンフェクト/北海道コカ・コーラボトリング/北海道千歳ハム/六花亭製菓
運輸	AIRDO/ANA 新千歳空港/サカイ引越センター/ジェットスター航空/ヤマト運輸/佐川急便/太平洋フェリー/日本航空 北海道中央バス/北海道旅客鉄道
情報・通信業	リクルート北海道じゃらん/富士通システムズ・イースト/北海道新聞社/北海道文化放送/NTT 東日本/日本郵政グループ JTB コミュニケーションズ北海道/KDDI エポルパ/NTT 北海道テレマート/USEN/ソフトバンクモバイル/マイナビ
卸売・小売業	イオン北海道/エービーシー・マート/オルゴール堂/グオホールディングス/サッポロドラッグストア/サンドラッグプラス セブン・イレブン・ジャパン/ツルハ/ニトリ/ホームック/ホクレン商事/マックスバリュ北海道/もりもと/ヨドバシカメラ 生活協同組合コープさっぽろ/北ガスフレアスト南/日本ハム北海道販売/北海道観光物産興社/LIXIL ビバ
金融・保険業	ゆうちょ銀行/三井住友海上火災保険/第一生命保険/東京海上日動火災保険/日本生命保険/北海道銀行/北洋銀行 明治安田生命保険/SMBC フレンド証券/ジャックス/みずほ証券
不動産業	ビッグ/レオパレス21/札幌副都心開発公社/住友不動産販売/常口アトム/副都心住宅販売/明和地所
飲食業	アレフ/ココスジャパン/とんでん/はなまる/王将フードサービス
宿泊・旅行業	プリンスホテル/加森観光/京王プラザホテル札幌/京王観光/法華倶楽部/野口観光/日本旅行北海道/星野リゾート・トマム JTB 北海道/エイチ・アイ・エス/トップツアー/ツーリストサービス北海道
医療・福祉	はるにれの里/ベネッセスタイルケア/旭川赤十字病院/漢仁会/研成会札幌鈴木病院/北海道国民健康保険団体連合会 北海道社会福祉事業団/カレス サッポロ/孝仁会/心優会/新産健会
教育・学習支援	北海学園/さっぽろ青少年女性活動協会/つしま記念学園/練成会グループ/東京アカデミー/志学会/北海道生涯学習協会
複合サービス事業	北海道漁業協同組合連合会/ホクレン農業協同組合連合会/札幌市交通事業振興公社/北海道厚生農業協同組合連合会 札幌市生涯学習振興財団/石狩地区農業共済組合/足寄観光協会/中標津町農業協同組合
サービス業	あいプラン/イオンシネマス/セントラル警備保障/セノン

公務員名称

北海道職員/北海道警察/札幌市職員/札幌以外の市町村職員(旭川市、室蘭市、滝川市、富良野市、北見市、名寄市、網走市、三笠市、釧路市等)/国税専門官
自衛隊一般曹候補生/公立学校教員[国語・英語]/国立大学等法人職員

2012～2014年度 教員採用状況

2012年度				2013年度				2014年度					
教員	科目		合格者数 () 内は過年度卒業生	教員	科目		合格者数 () 内は過年度卒業生	教員	科目		合格者数 () 内は過年度卒業生		
公立学校	国語	中学	2(2)*	公立学校	国語	中学	3(3)*	公立学校	国語	中学	2(2)		
		高校	4(3)			4(4)	高校			3(3)	5(5)		
	英語	中学	1(1)		英語	中学	3(3)		6(5)	英語	中学	3(2)	6(5)
		高校	1(1)			高校	3(2)				高校	3(3)	
私立学校	国語	中学	1(1)	※内1名は特別支援学校(聾学校)の中等部				私立学校	国語	高校	3(3)		
		高校	1(1)	2(2)	英語	高校	1(0)						

※内1名は中学校の特別支援学級

ヒューマン 2015.6 Vol.05

編集・発行:北海学園大学人文学部

〒062-8605 札幌市豊平区旭町4丁目1-40 <http://human.hgu.jp/> TEL.011-841-1161(代表) FAX.011-824-7729

制作・印刷:㈱アイワード

PD:馬場康広[㈱アイワード 2000年人文学部日本文化学科卒]

表紙キャッチコピー:人文学部日本文化学科1部4年 杉戸晴菜さん

本学の文学部では幅広い分野が学べるので、さまざまな分野を学んでいく中で特に興味のあるものを発見したり、さまざまな知識を身に付けたりすることができると思います。
そうして得たものを、これからの人生で生かしていくという意味を込めました。
「世界」には通常の意味だけではなく、「さまざまな文化」と「自分の未来」という意味をかけている為、それぞれ異なるルビを振りました。